

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.36 (2019.3.27)

平成30年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
140年企業としての誇り
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

平成30年度第56期もいよいよ終わろうとしております。期初に掲げた目標については概ね達成の見込みとなっておりますが、何といても今期は本社を移転したことが大きな出来事でありました。移転にともなう各種手続きや引っ越し作業なども皆さんの協力を得て大きなトラブルもなく終了しております。うれしい事には柳町町内の皆さんや湯沢市中心部の方々にも「和賀組さんが来てくれて良かった」と言ってもらっていることです。冗談半分に「最近ガラの悪い奴や汚い身なりの人間が増えて柳町の風紀が乱れて来た！」などと言われたいようにと皆さんにお願いしておりましたが、そのような声は無く「明るくなった、きれいになった、除雪作業を見ているとさすがプロだと思った、建設会社が町内にいると心強い」などと喜んで頂いております。また近くの食堂やスーパーで買い物をしている姿を見て、商売をしている人たちも喜んでいらっしゃるとうのお声も頂いております。引き続き57期も地域に受け入れて頂けるように、特に近隣の皆さんへの挨拶にも注力して参りたいと思います。

3月6日、大関衛県議急逝の報を受け湯沢市のみならず秋田県内外にも衝撃が走りました。今年の新年会では元気な様子だっただけに、人間の運命というものの儚さを痛感させられた気がいたします。代議士秘書を経て31歳という若さで初当選以来、勉強熱心な姿といわゆる「マメ」な政治姿勢は多くの地域住民から指示されておりました。稲川出身という理由で私の事をいつも先輩と呼んで頂いたり、私の末弟の同級生ということもあって支援しておりました。自由民主党湯沢支部公認という保守系の県議だったこともあって、公共事業などの具体的な陳情にも丁寧に応対頂き、力となって頂いていただけにまさに痛恨の極みと言わざるを得ません。振り返ると2日の湯沢翔北高校の卒業式が言葉を交わさせて頂いた最後ということになります。当日もマスクをして体調が優れなさそうな様子でしたが、翌週の県議会を欠席したと聞き、あの責任感の強い大関氏が議事を休むということは本当に体調が悪かったのだらうと推察されます。雄勝中央病院の先生に聞いたところ、胃の痛みを訴える患者さんには、実は心疾患が有るケースが少なくないということでした。本人も胃の不調を訴えていたようですが、実際には心不全ということで心臓の病気だったということになります。大関氏は特に地元国道398号のバイパス化の実現にも永年尽力しておられ、その完成を見ることなく旅立ってしまったことを想うと本当に無念であつたらうと推察致します。彼の想いを受け継ぎ、ふるさと湯沢・雄勝の発展のために我々が努力邁進することが大関氏への何よりの供養になるものと思っております。

自分の体調は何といても自分が一番の理解者です。健康経営の基本は早期発見・早期治療で仕事からの離脱を最小限にとどめることでもあります。社員の皆には今一度、2次検診と治療への取組をお願い致します。



三陸鉄道災害学習列車



3月4日(月)湯沢商工会議所主催で釜石から大船渡までの災害学習列車に乗車しました。防

潮堤などは完成しておりましたが、商業施設などはまだまだ完成しておらず、八年経過した現在も復興は道半ばという印象を受けました。



花こまちが協会に要望書



3月6日、(一社)雄勝建設業協会高嶋会長に、女性部会花こまちより要望書が提出されました。

女性社員の積極採用と研修の充実、男女が相互に認め合う職場、分煙化、産休・育休・介護休暇制度の確立、休日出勤への配慮等具体的な要望で、協会としても会員への啓蒙活動を行うことを約束しました。

菅義偉官房長官要望会

3月14日、恒例となった雄勝建設業協会による官房長



官への要望会が実施されました。東北中央自動車道、成瀬ダム、山田堰などに事業予算確保を要望して参りました。

